

# 9月定例町議会

9月定例町議会が、13日から7日間の日程で開かれました。

この議会では、建築工事に關する契約案件や補正予算、また、昭和63年度の町の決算などが審議され、いずれも可決（承認）されました。

一般質問には、4人の議員が環境・福祉・空港関連対策などについて、町の考えをただしました。内容は、次のとおりです。

## 議案

### ▼契約の締結

栗山中央共同利用施設の建設にあたり、建物本体と電気設備工事について次のとおり契約するものです。

◎契約の相手・金額

横芝町古川20番地の5

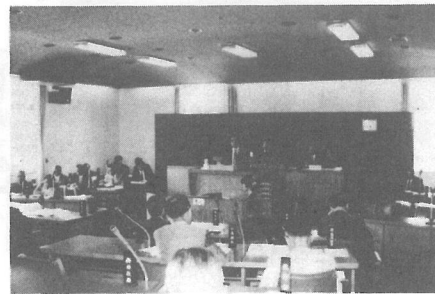
株式会社 舛ノ内組

四千八十九万一千円

### ▼千葉縣市町村公平委員会共同設置規約の一部改正協議

公平委員会に加入している団体のなかで、名称変更があったため、規約中の名称を改めるもの。

### ▼平成元年度一般会計予算の



提案説明を行う佐瀬哲司町長

## 補正

繰越金、国や県からの支出金などを財源として、八千四百七十一万一千円が追加されました。これらは東陽病院・郡環境衛生組合への負担金、駅前前の観光アーチの改修や道路の整備などにあてられます。

### ▼昭和63年度一般会計決算

### ▼昭和63年度国民健康保険特別会計決算

### ▼昭和63年度老人保健特別会計決算

いずれの会計も、健全財政として承認されました。関連記事8〜10ページ。

## 一般質問

# 環境・福祉対策が焦点

## 生活排水浄化モデル地区を検討

### 栗山川の

### 汚染防止対策

急激な開発で住宅がどんどん建築されている反面、最近特に汚れがひどくなってきたのが栗山川。サケが帰って来たからきれいとはいえない。栗山川に流れ込む汚水になにか処置を考えているか。

町の長期構想で示しているように、公共下水道の設置を広域的に検討し、快適で衛生的な生活環境の実現を目指している。この方針に沿って基礎調査に入る段階である。県の指導を受け、また、関係



合併処理浄化槽の工事現場

町村と連携を図り、町の関係機関の意見を聞きながら指針の作成に入りたい。なお、土地改良関係の排水路に汚水が流れているようであるが、生活雑排水を中心とした環境問題は、自治体の責務であり前向きに考えている。その他、生活雑排水の浄化モデル地区の設置も推進して参りたい。

### 合併処理浄化槽の普及推進

①合併処理浄化槽の設置状況と普及対策は ②今後、補助金を上乗せする考えは。

①7基予算化したなかで、現在6基分が実施・申請中である。補助制度については、広報紙を活用してきたが、今後、総務員会議等を通じて趣旨の徹底を図りたい。②県の補助枠との関連もあるので、連携を密にして検討したい。

### 粗大ゴミの回収

不法投棄の防止等から粗大ゴミの回収計画は